

dyson carbon fibre

DC  
26 motorhead pet care  
モーターヘッド ペットケア

ダイソンのDC26 モーターヘッド ペットケアなら、ブラシツール付きで、ブラッシングで取り除いた毛が飛び散ることなく、そのまま掃除機に吸引されます。ルートサイクロンテクノロジーと専用モーターを搭載したヘッドで、より多くのホコリやペットの毛を床から取り除くのでより快適な生活が実現します。

今日からはじめる愛犬のスキンケア

# ブラッシング ガイドブック



DC26 モーターヘッド ペットケア及び  
その他ラインナップの詳細については、こちらへ

話そう dyson ☎ 0120-295-731  
買う前も、買った後も [www.dyson.co.jp](http://www.dyson.co.jp)



# デリケートな愛犬の皮膚 正しいスキンケアで健やかに

犬の皮膚は、実は私たち人間よりもずっとデリケート。表皮の厚さは、なんと人の約1/3程度しかなく、皮膚のターンオーバー（新陳代謝）は人間の40-50日に対し、犬の平均は20日、中には7日程度という犬種も。

また、皮膚にある、汗を出す「汗腺」の種類も異なり、人間の場合は、サラサラの汗を出す汗腺（エクリン腺）が体の大半を占めているのに対し、犬の場合は、体を覆う皮膚の大半が、ベタついた汗を出す汗腺（アポクリン腺）。つまり、わかりやすく言い換えれば、「全身の皮膚が人間のわきの下」なのです。

そんなデリケートな皮膚をもつ愛犬にとっては、人間以上にスキンケアが重要で、間違ったケアは皮膚病を引き起こす原因になることもありますので、この冊子で、正しい知識を習得してください。

## 齊藤 邦史（さいとう くにふみ）

獣医師・齊藤動物病院院長

北里大学卒業、獣医学修士。日本臨床獣医学フォーラム理事を務め、獣医学会、及び一般のペットオーナー向けに皮膚病のスペシャリストとしての講演多数。動物に苦痛を与えない治療を心がけ、皮膚疾患の研究に全力を注ぐ。



# 愛犬と一緒に楽しみながら ブラッシングを習慣に

ブラッシングは愛犬の健康維持には欠かせない毎日の大切な習慣です。もちろん、古い抜け毛をきちんと取り除いてあげるという大きな目的がありますが、ブラッシングがもたらすメリットは他にもあります。皮膚を理想的な状態に保つことで、フケが出にくくなれば、人間のアレルギー予防など、二次的な効果も。また、大好きな飼い主さんとのスキンシップの時間は愛犬にとって至福の時間であり、絆を深めるきっかけに。さらに、全身をブラッシングすることで、普段から愛犬が触られることに慣れていくというトレーニングにもつながるのです。

しかし、愛犬のブラッシングには、日本の住宅事情とあいまって、「抜け毛の飛び散り」を理由に様々な規制が存在しています。公園など公共の場はもちろん、自宅のマンションのベランダでも禁止されているところも少なくありません。

だからこそ、室内でブラッシングしても抜け毛が飛び散らない『ダイソン DC26 モーターヘッド ペットケア』は、ペットとの共生と双方の幸せに大いに役立つツールになってくれることでしょう。

## 須崎 大（すざき だい）

DOGSHIP INC. 代表

「動物行動心理学」を専門とし、人と犬、人と人の相互関係をライフワークとして研究。近年、社会人向けに「動物から学ぶコミュニケーション」をテーマに企業や自治体・ホテル等に、メンタルトレーナー及び現役ドッグトレーナー双方の立場から講師として活躍中。



# 無理なく続けて 皮膚と被毛の健康維持を

## スキンケアの基本と理想の環境

まず、スキンケアの基本は人間の洗顔と同じく、シャンプーです。犬にも人間同様、乾燥肌やオイリー肌などの肌タイプがありますから、きちんとご自身の愛犬の肌タイプを確かめて、適したシャンプー剤を選んであげることが重要です。肌タイプや洗う頻度など、獣医師に相談するのも手。また、犬たちの皮膚の健康面から言うと、20-24℃の気温と40-60%程度の湿度が理想的だと思います。

## ブラッシングからはじめる 愛犬のスキンケア

本来は抜けるべき毛が全身に残ったままの状態は、まるで人間が、同じセーターを一年中着続けているようなもの。冬ならまだしも、夏場はたまりません。皮膚自体のバリア機能の低下から起こる皮膚病を予防する意味でも、毎日のブラッシングを習慣にしてください。全身くまなくブラッシングすることで、普段は気付きにくい愛犬の肌コンディションの確認はもちろん、ノミ・ダニなどの発見、腫瘍などの早期発見にも役立ちます。そして、ここでもやはり、それぞれの犬種、愛犬の状態にあったアイテム選びが大前提です。ダブルコートやシングルコート\*、毛の長さやカールの具合などによって、適したブラシを選びましょう。数あるブラシの中でも多くの飼い主さんが使っているスリッカーブラシは、本来、長くからまりやすい毛をまっすぐ伸ばすことが目的のもの。近頃は、抜け毛がよく取れることから、ダブルコートの犬種の換毛期のブラッシングに活用している飼い主さんも多いようです。ただ、ここで注意してほしいのが、愛犬のデリケートな肌を守るためにも、力を入れすぎて肌に強く当てないこと。できるだけブラシを持つ手に力を入れず、毛だけをすくうように、赤ちゃんの頭をとかしてあげるような気持ちで、優しくブラッシングしてください。

## 愛犬のアレルギー・アトピー予防

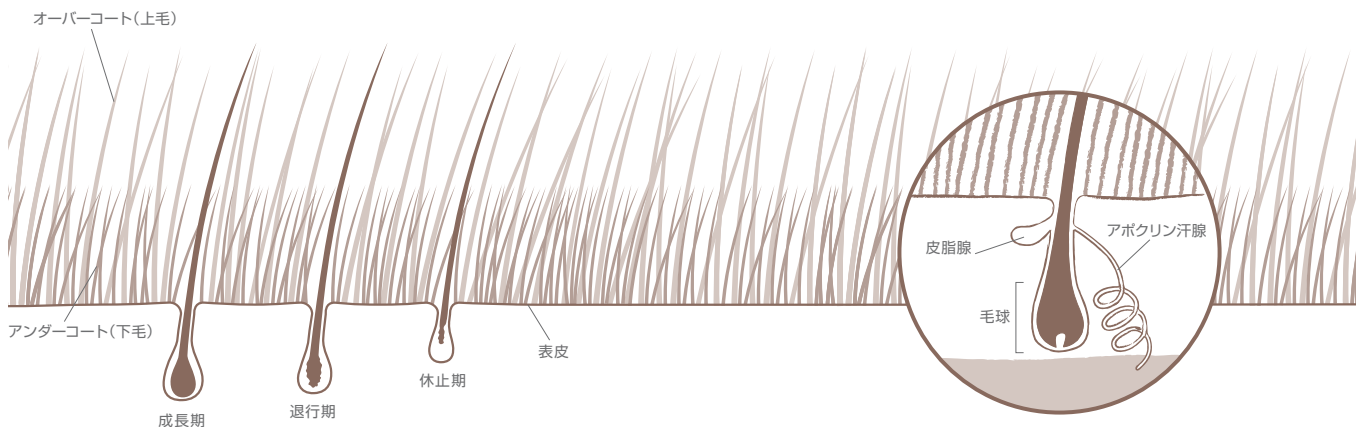
最近では、ハウスダストや花粉などが引き起こすアトピー性皮膚炎などで来院するワンちゃんも増えています。予防策としては、お部屋の掃除と花粉などのアレルギー抗原を体毛に付けたり、部屋に持ち込まないこと、付着した場合は速やかに被毛から取り除くことが重要です。お部屋の掃除は毎日見るところだけ掃除機をかけるのではなく、むしろ週に一度でも良いので、家中の大掃除をする気持ちで、目につきにくい場所からも、ハウスダストを吸いつくすつもりで。花粉の季節には、家に持ち込まないように。お散歩の帰りに玄関先で、愛犬の体を、吸着性のあるフロアシート(乾燥タイプ)で、ふき取ってあげるのも有効です。

## お互い無理をしないで習慣化

人間のスキンケアと同様、愛犬のスキンケアも習慣化して続けてこそ。色々なグルーミング用品も販売されていますから、ご自身で愛犬にあったものを選んで活用し、楽しみながら無理なく続けられれば理想でしょう。『ダイソン DC26モーターヘッド ペットケア』は、愛犬のスリッカーブラシと掃除機が一緒になったもので、正しく使えば、換毛期の古い毛もしっかり取れて、スリッカーを出さずに使えば犬の体に付いた花粉やホコリの吸引にも役立つという点で、評価すべきアイテム。飼い主と愛犬とのコミュニケーションツールとして活用しながら、愛犬の皮膚と被毛の健康維持に役立てましょう。

## 斉藤 邦史(さいとう くにふみ)

獣医師・斉藤動物病院院長



\*ダブルコートとは、柔らかいフワフワした下毛と比較的固めの上毛の2種類のコート(被毛)をもち、年2回 換毛期に大量に下毛が抜けます。代表的犬種としては、チワワ、ダックスフント(ロング)、柴犬、コーギー、ゴールデン/ラブラドル・レトリバー、Mシヌナウザーなどです。上毛しかもたないシングルコートの 代表的犬種としては、ブーデル、ヨークシャーテリア、パピオン、スムースチワワなどです。

# 愛犬の目線で考えてはじめる ブラッシングのトレーニング

新しいことを習慣化するには、まず、愛犬にとって何がストレスとなるのか、どうしたら興味を持ってくれるのか、大切なのは、愛犬の目線、愛犬の感覚で考えてあげることです。「うちのコは掃除機自体が苦手で…」とおっしゃる方も、諦めないでください。確かに掃除機は大きな音が出ますが、トラックやバイクなど、日常生活の中でもっと大きな音を出すものはたくさんあります。正しくトレーニングができれば、『ダイソン DC26モーターヘッド ペットケア』を使ったブラッシングは、決して難しくありません。

## 9つのステップであなたの愛犬も ブラッシングが大好きになる！

ここでご紹介するステップは、多少時間がかかるので、ついつい、いくつかのステップを省略したくなることもあるでしょう。でも、少し待ってください。愛犬にとってはひとつずつ経験を重ねることが一番大切なのです。大切な家族のために、急がば回れを実践してあげてください。

### STEP 1 存在に慣れさせる

リビングなど愛犬と人のつくりぎの空間で『ダイソン DC26モーターヘッド ペットケア』を常に視界に入る場所に置いておき、その存在に慣れさせます。いきなりスイッチを入れてブラッシングするのは絶対にNG。

### STEP 2 視覚で認識させる

愛犬は五感を使って物を認識します。まずは、『ダイソン DC26モーターヘッド ペットケア』の本体とブラシパーツと空間を共有させてあげましょう。

### STEP 3 嗅覚で認識させる

本体を指で軽くトントントンと叩き、愛犬の聴覚を刺激すると、本体に近づき匂いを嗅ごうとするはずですが、愛犬が匂いを嗅ぐということは、その物に興味をもっているというサインなのです。

### STEP 4 味覚で覚えさせる

上手に匂いを嗅げたら、たくさん褒めてあげて大好きなおやつなどを与えましょう。おやつ以外に、お気に入りのおもちゃで遊んであげてもOK。本体に近づいたらアイコンタクトがあると経験させます。

### STEP 5 ブラシツールにも慣れさせる

今度は愛犬に直接触れるブラシの部分を使って、ステップ1~4を繰り返します。



### STEP 6 聴覚で認識させる

愛犬にとって、本体やブラシツールは怖いものではなく、楽しいものだと思わせたら、いよいよ、本体にスイッチを入れて音を出してみよう。しかし、あせりは禁物、スイッチを入れたり、切ったりを繰り返すのみで、愛犬を無理に近づけないで。

### STEP 7 触覚で認識させる

愛犬にヘッドの感触に慣れてもらうために、まずはスリッカーを出さない状態のままヘッドで愛犬の体全体を撫でましょう。この時には、まだ本体のスイッチは入れません。

### STEP 8 スリッカーを出して軽いブラッシングから

ステップ1に慣れたら、ブラシツールから、スリッカーブラシを出した状態でブラッシングします。最初は軽く、そして少しずつ力を加えます。ただし、スリッカー使用時の力の入れすぎには充分注意してください。このときもまだ、スイッチは入れないで。



### STEP 9 いよいよ、掃除機使ってブラッシング

ステップ1~8までを順番にクリアできたら、いよいよブラッシングのスタート。はじめは、愛犬が嫌がらない背中などからはじめ、徐々にブラッシングの範囲を広げ、少しずつ慣れさせましょう。はじめは、電源を入れず、ブラッシングで抜け毛がツールにたまったら、本体のスイッチを入れて吸引させても。近いうちに、常に本体のスイッチを入れた状態で、ブラッシングから吸引まで一気にできるようになるはずです。



須崎 大 (すざき だい)  
DOGSHIP INC. 代表